

エネルギー環境計画書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあつては名称及び代表者の 氏名)	株式会社エフオン 代表取締役 島崎 知格
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあつては主たる事務所の所在 地)	東京都千代田区丸の内一丁目9番2号

(2) 事業の概要

発電事業の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
都内供給区分	<input checked="" type="checkbox"/> 特別高圧 <input checked="" type="checkbox"/> 高圧 <input type="checkbox"/> 低圧(電力) <input type="checkbox"/> 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電 事業の概要も記載すること。)	<p>・電力小売り事業 当社グループで発電した100%国産木質燃料由来のFITバイオマス電気を中心とした電気に、ご提供メニューにより供給量の100%、50%、又は30%相当の非化石証書(再エネ指定)をつけてご提供しています。「再生可能エネルギー価値」と「CO2フリー価値」をもつ非化石証書(再エネ指定)と一緒にお届けすることで、国際イニシアチブのRE100や日本の中小企業や団体向けの再エネ100宣言の枠組みであるRE Actionにも適合した環境価値付きの電気を供給しております。</p> <p>※当社で購入した「非化石証書(再エネ指定)」の環境価値には、当社グループ発電所由来のトラッキング情報が付与されています。</p> <p>・発電事業 100%子会社で福島県、栃木県、大分県(2か所)の全国4か所において、国産木材を100%使用したバイオマス発電事業(合計60,100kW)を展開しています。</p> <p>・その他 企業様の設備更新や運用改善などを通じた省エネルギー支援サービス事業を実施しています。</p>

(3) 担当部署

計 画 の 担 当 部 署	名称	電力事業部業務課	
	連絡先	電 話 番 号	03-6823-6300
		ファクシミリ番号	03-4500-6451
		電子メールアドレス	efon_denryoku@ef-on.co.jp
公 表 の 担 当 部 署	名称	電力事業部業務課	
	連絡先	電 話 番 号	03-6823-6300
		ファクシミリ番号	03-4500-6451
		電子メールアドレス	efon_denryoku@ef-on.co.jp

第1号様式 その2

(4) エネルギー環境計画書の公表方法

公表期間		2021年10月31日 ~ 2022年07月31日	
公表方法	<input checked="" type="checkbox"/> ホームページで公表	アドレス:	https://kouri.ef-on.co.jp/2021/10/tokyo-report/
	<input type="checkbox"/> 窓口での閲覧	閲覧場所:	
		所在地:	
		閲覧可能時間	
	<input type="checkbox"/> 冊子(環境報告書等)	冊子名:	
		入手方法:	
	<input type="checkbox"/> その他		

2 地球温暖化の対策の取組方針

<p>■ 発電事業等に係る取組方針 和歌山県新宮市に建設中の発電出力18,000kWのバイオマス発電所を2022年より運転開始予定です。</p> <p>■ 電力調達にかかる取組方針 自社グループ発電所由来の100%国産木材を活用したFITバイオマス電気を中心に調達します。</p> <p>■ その他温暖化対策に係る取組方針 お客様に対する省エネルギー支援サービスを積極的に推進します。</p>
--

3 地球温暖化の対策の推進体制

<p>■ 発電事業等に係る推進体制 100%子会社の㈱エフバイオスにおいて、全国4か所の発電所の燃料(国産木質チップ)の供給、発電所の運営、保守管理を行っています。</p> <p>■ その他の温暖化対策に係る推進体制 当社環境エネルギー部において、設備の切り替えや運用方法の改善によるエネルギー利用の効率化等を支援しています。</p>

4 特定エネルギーの供給に伴い排出される温室効果ガスの量(1kWh当たり)の抑制に係る措置及び目標

(1) CO₂排出係数の削減目標(全電源のCO₂排出係数)

(単位 kg-CO₂/kWh)

項目	当年度のCO ₂ 排出係数	次年度のCO ₂ 排出係数	長期的目標年度のCO ₂ 排出係数
当年度の計画における目標値	0.153	0.133	0.093
前年度の計画における目標値	-	-	-

長期的目標年度: 2030年度

(目標設定に係る措置の考え方)

<p>・2021年度より栃木県壬生町に立地するグループ内FITバイオマス発電所(18,000kW)より東京エリアへの供給を開始し、FITバイオマス電気の割合を高めることで、排出係数を低減します。</p> <p>・FITバイオマス電気比率の高いメニューの販売を積極的に進め、電源構成に占めるFITバイオマス電気の割合を段階的に高め、排出係数を低減します。</p>
--

第1号様式 その3

5 再生可能エネルギーの供給の量の割合の拡大に係る措置及び目標

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の量の割合の拡大に係る措置及び目標

項目	当年度の利用量		次年度の利用量		長期的目標年度の利用量	
	利用量 (千kWh)	利用率(%)	利用量 (千kWh)	利用率(%)	利用量 (千kWh)	利用率(%)
当年度の計画における目標値	3,200	80.00%	5,120	80.00%	5,760	90.00%
前年度の計画における目標値	-	-	-	-	-	-

長期的目標年度: 2030 年度

(目標設定に係る措置の考え方)

・2021年度より栃木県壬生町に立地するグループ内FITバイオマス発電所(18,000kW)より東京エリアへの供給を開始し、FITバイオマス電気の電源割合を段階的に増やします。
 ・FITバイオマス電気比率の高いメニューの販売を積極的に進め、電源構成に占めるFITバイオマス電気の割合を高めます。

6 その他地球温暖化の対策に関する事項

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給の量の割合の拡大に係る措置及び目標

項目	当年度の利用量		次年度の利用量		長期的目標年度の利用量	
	利用量 (千kWh)	利用率(%)	利用量 (千kWh)	利用率(%)	利用量 (千kWh)	利用率(%)
当年度の計画における目標値	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
前年度の計画における目標値	-	-	-	-	-	-

長期的目標年度: 2030 年度

(目標設定に係る措置の考え方)

未利用エネルギーの活用予定はありません。

第1号様式 その4

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置及び目標

・弊社では火力発電所を保有しておりませんが、以下4つの子会社(全て弊社100%出資)が木質バイオマス発電所を運営しております。

- ①株式会社エフオン白河「大信発電所」(福島県) 12,100kW
- ②株式会社エフオン日田「日田発電所」(大分県) 12,000kW
- ③株式会社エフオン豊後大野「豊後大野発電所」(大分県) 18,000kW
- ④株式会社エフオン壬生「壬生発電所」(栃木県) 18,000kW

また、2022年度から以下のバイオマス発電所が運転開始する予定です。

- ⑤株式会社エフオン新宮「新宮発電所」(和歌山県) 18,000kW

・設備運用改善の他、部分負荷運転時には熱効率が低下するため年間を通じた安定稼働を実現し、立ち上げ・立ち下げをスムーズにすることで、熱効率の最大化を図ります。

・また、所内動力の省エネ化を進めることで、所内率の低減を図っています。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化対策の働きかけに係る措置

・需要家の皆様に、供給した電気の排出係数、CO2排出量、電源構成の実績等の地球温暖化対策推進のための情報提供を行います。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置

・エフオングループでは自社で森林を所有し、自らの手で管理することにより、資源循環の再生を促すとともに、林業の振興のため、未来を担う人材育成や、重機の導入など、国際規格の林業の実現を目指し、貴重な国産資源を守り育てる取り組みをしています。

・具体的には、100%子会社の(株)エフバイオスにおいて、自社林を保有し育林や素材生産、苗木生産等の山林経営と併せ、ドローンやAIを活用した高精度の森林調査・計測、森林資源量の推定・解析等の森林サービスを行っています。